

龍谷の教育

No.172

2024.Autumn



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

龍谷祭

「龍翔鳳舞」

～龍のごとく
舞い上がれ～



自分を知る

副校長 藤井 昭三



今年の夏はスポーツが大きな話題となりました。パリでのオリンピック、パラリンピックは盛況のうちに終わり、日本選手団の活躍が大きな話題となりました。秋には地元佐賀県で国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会が開催されます。佐賀県選手団の活躍を念じております。忘れてならないのは、今年の夏の龍谷高校の躍進です。多くの方から「龍谷すごいですね」という声をいただき、嬉しくなりました。NHK杯野球大会での優勝に始まり、佐賀県高校総体ではサッカー、自転車、空手（男子）、空手（女子）、剣道（女子）で本校が団体優勝を飾り、個人の成績にも目を見張るものがありました。その後の九州大会や北部九州総体でも大いに活躍してくれました。また、玉竜旗女子では龍谷が初優勝を勝ち取り、新聞紙面等でも大きく取り上げられました。龍谷の生徒の力が十分に発揮された夏となりました。

9月5日・6日には、毎年恒例の「龍谷祭」が開催されました。初日は「文化祭」、2日目は「体育祭」で生徒が最高のパフォーマンスを見せてくれました。暑い中にもかかわらず、多くの保護者の皆様に参観いただき感謝しております。本校の生徒には、この勢いで後半の学校生活でも多くのことを学び、充実したものにしてほしいものです。より良い成果を出すためには、

自分の現状や自分自身の力量をしつかりと見極めることが必要です。つまり「自分を知る」ことが成功への近道となります。

では「自分を知る」とはどういうことなのでしょう。子どもたちがよく夢中になっているゲームを例にとるとわかりやすいかもしれません。ゲームの中で活躍している主人公が自分自身とすれば、画面を見ながらゲームをやっているのがもう一人の自分です。このもう一人の自分は俯瞰的視点から客観的にゲームの中の主人公を見ることができているはずです。ゲームの主人公の情報が事前に、いろいろと分かっていたら、不測の事態にも、きつと、うまく対処することができはるはず。

このことを現実社会に置き換えて考えてみるといいでしょう。自分の弱みや強みを具体的に知ることを「自分をモニターする」と言います。そして、どうしたらうまくいくかを考え、方法を決めて行動することを「自分をコントロールする」と言います。この手法が理解できれば、日頃の学校生活でも客観的に冷静な判断をすることができるようになります。

「自己モニター」と「自己コントロール」、この2つがセットになって「自分を知る」ことになります。これは認知心理学の世界で「メタ認知」と言われるものです。「メタ認知」をうまく利用することで、人の力は大きく伸びます。学校生活の中でうまく「メタ認知」を活かす生徒が龍谷校内で増えることを願っています。

私たちの「今」は、過去の私の積み重ねによって形成されています。それは、過去の私がどのような経験をしてきたのか、どのような思いを抱いて過ごしてきたのかということ。しかし、浄土真宗大谷派の僧侶である藤代聡磨さんの言葉に次のようなものがあります。

「これまではこれからを決めるのではない。」

「これからがこれまでを決めるのだ。」

一般的には、「これまではこれからを決める」と思われています。つまり、「過去の私の積み重ねが未来の私を形作っていく」という考えです。しかし、その後の言葉、「これからがこれまでを決める」とはどのようなことでしょうか。「これから（の生き方）がこれまで（の意味）を決める」と補うと少しわかりやすいかもしれません。たとえば、足の小指をぶつけてしまい、強烈な痛みを感じたときに「いたいー」で終わってしまうとそれまでです。しかし、「あのときに小指をぶつけてしまったから、よく足元を見て歩くようになって、大きな失敗をしないで済んだ」と、ぶつけてしまったことを教訓にして、気をつけてステッパアップしていく生き方もあります。

同朋

これからの人生の生き方で、これまでの人生が、単なる失敗や無意味になってしまふこともあれば、これからの人生を支えてくれる大切な意味のあるものになったりもするのです。私たちは「ドラえもん」で登場するタイムマシンを使って過去や未来に行き、過去を変えることや未来を知ることとはできません。過去の事実を変えることはできませんが、過去の受け止め方を変えることはできます。これまでの人生に、どのような意味を見出すことができるか。それは、これからの人生にかかっています。

浄土真宗で大切にされている阿弥陀如来。阿弥陀如来はすべての人生に、大切な意味があることを教えてくださいます。その阿弥陀如来のはたらきの中で、これからの人生を歩ませたいただくということは、過去からのマイナスの考えから離れるということであり、さらに言えば、マイナスとしか受け取れなかった過去の事実が、大切な意味のあるものへと転じられるということなのです。

阿弥陀如来のはたらきの中で、これからの人生を、大切に歩ませていただきたいものです。

合掌
(文責 横曽根)

真夏のオープンスクール

「Let's Move On 青春革命！～進み出そう、青春革命～」

参加御礼



暑さの厳しい8月2日から4日、真夏のオープンスクール「Let's Move On 青春革命！～進み出そう、青春革命～」には、たくさんの中学生の皆さん、保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

今年は、新しいコースが登場！社会系の講座「黒曜石で石器を作ろう」では、実際に黒曜石を割って、石器を作り、サラダチンを切ってみました。初めて触る黒曜石の感触、そして縄文人たちの知恵など様々なことを感じ取ることができたようです。また、龍谷に流れる川は、「がばいばあちゃん」の本物の川。佐賀の自然を守る！！その意味もこめて、なんとオープンスクールで舟をひっぱって川掃除！！体育館では「U15！いきなりクラスマッチ！」が行われ、初めて会った他の学校の生徒とチームになってソフトバレーをやりました。これからの社会に必要な力や考えを身につけてもらえたらいいと思います。



大事なのは、3年間はもちろんですが、その後に続く長い人生。その土台を築くためにきついことも苦しいことも楽しいことも、経験していける学校をみつけてくださいね！！ご参加、ありがとうございました。

(文責 不二見)

令和六年度 振風会大同窓会

8月17日(土) ホテルニューオータニ佐賀

8月17日、年に一度、同窓生がホテルニューオータニ佐賀に集まる大同窓会が行われました。20代から80代まで、146年の歴史を感じさせる同窓生の皆さん。久しぶりに会う方も多いのか、あちらこちらから笑い声も響いていました。吹奏楽部の演奏から始まり、今年のゲストはなんと！「はなわ」さん。佐賀を代表するアーティストですね！はなわさんの「佐賀愛」あふれる歌にみんな聞き入っていました。そして次はYouTubeでも人気の「宮川大好」さん、「喉おさえマン」さんも登場されました！年代によっては、「YouTube...?」の方もいらつしやいましたが、多彩な芸で盛り上げてくださいました。そして恒例の！！豪華製品抽選会です。

龍谷の先生たちにもたくさん当たって、みんな大喜びでした。学校が統合されたり、名前が変わったり、中にはなくなったりしている少子化の現代。146年の歴史を守りつつ、母校を残し、発展させていくために、教職員にとっても気持ちを新たにできた時間でした。

実行委員の皆様、ありがとうございました。
来年はもっとたくさんの皆様にお会いできますように！！

(文責 不二見)



RYUKOKU FESTIVAL

2024 龍谷祭



9月5日、6日に「龍谷祭」が開催されました。今年は台風の影響を受け、例年よりも準備期間が短くなってしまいました。しかし、生徒会や応援リーダーを中心に全校生徒が一丸となって準備・練習に取り組んでいたため、素晴らしい龍谷祭となりました。
(文責 小杭)



団 長 よ り 一 言

白団団長

辻 直輝 (③文理 城西中)

最初は団長になるとは思ってはいませんでした。練習期間では仲間との意見が合わないことや大変なこと、辛いこともありましたが、運営に携わってくださった先生方をはじめ、生徒会の皆さん、そして団員のみんなのおかげで無事に龍谷祭を終えることができました。この経験を通じて集団をまとめることの大変さや相手に自分の意思を的確に伝えることの難しさを学びました。そして今回学んだことを糧とし、今後の学校生活や将来にどのように活かしていくかを考え、これからも成長し続けられるよう努力していきたいと思います。

後輩の皆さんへ。リーダーになると勉強との両立が難しくなり、大変なことも多いですが、ここでしか味わうことのできない青春や仲間との協力することの大切さなどリーダーならではの学びが多くあると思います。ぜひ、何事にも積極的に挑戦し、悔いのないような高校生活にしてください。

最後に、僕は3年間の体育祭の中で今年が一番楽しかったし、最高の思い出になりました。こんなに頼りない僕についてきてくれた応援リーダーをはじめ、団員のみんな本当にありがとうございました。

赤団団長

竹下 大智 (③文理 川副中)

私が龍谷祭を通じて学んだことは、集団をまとめることの大変さ、そして目標を達成するまでの困難な道のりをどのようにして歩むかということです。いくつかのクラスをまとめるだけでも、かなり手こずってしまったのですが、それでもそのような経験ができて良かったと思います。

私が最も団長としてこだわってきたのは「最後の締め」です。応援リーダーの練習、全体練習、そして体育祭、全ての最後に一本締めをしました。そうすることで、次へのメリハリとやりきった達成感を感じることができたと思います。

私は本当に団員に恵まれたと思いました。演舞、団パフォーマンスの段取りも完璧に行ってくれたし、団席の生徒も心一つに声を出してくれました。

今年、18歳になりますが、大きな怪我や病気がなく、命を削って愛情込めて育ててくれた親にはとても感謝しています。

青団団長

光吉菜々美 (③総合 昭栄中)

初めは、応援団の団員が女子だけという龍谷初の挑戦と、自分自身が大人数の前で話をしたり、初対面の人と関わったりすることに苦手意識があったため、楽しみよりも不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、いざ人前で立って話をしたり、初対面の人と関わりだしたら、苦手意識を抱いていたことを忘れるぐらい青団のみんなを引っ張っていくことができました。しかし、青団のみんなを引っ張っていくことができたのは、決して私一人の力ではありませんでした。団員のみんながいてくれたお陰で、一つになっていく青団の姿を先生方や保護者の方々に見ることができたのではないかと思います。青団のみんなにとても感謝しています。

また、龍谷祭を開催するにあたって支えてくださった先生方、保護者の方々、生徒会のみなさんも本当にありがとうございました。

楽



櫻



巔



体育委員長

中川 琢生 (③総合 成章中)

まずは皆さん龍谷祭お疲れ様でした。今年の文化祭、体育祭はいかがだったでしょうか。今年は台風の影響もあり、夏休み明けから一週間も経たないうちに龍谷祭が開催されましたが、それでも皆さんが龍谷祭を最高の思い出として記憶に残していただけに嬉しい限りです。

体育委員長として私の話をさせていただくと、今回の体育祭は不安の連続でした。私は他の人に責任を負わせたくない性格のため、つい仕事を一人で背負い過ぎてしまい、限界を感じました。本番前日になって、やっと周りに頼ってみた時の「最初からこうすれば良かったのだ」という驚きに似た安堵と、それまでの自分のやり方について反省したのを鮮明に覚えています。そして迎えた体育祭当日は、皆さんの協力もあり、無事に成功をおさめることができたので安心しました。今回の龍谷祭を通して周りを頼る大切さを痛感しました。そして、当日までサポートしていただいた先生方や、私の拙い指示にも従い、長時間の仕事をこなしてくれた生徒会の皆さんには感謝の気持ちしかありません。これまで漠然と体育委員長を勤めてきた私でしたが、今では本当にやって良かったと思っています。皆さんありがとうございました。

最後に、生徒会の2年生の皆さん、1年間お疲れ様でした。次期生徒会活動にも参加しようと思っている人は是非頑張ってください。心から応援しています。

文化委員長

中島 雄大

(③文理 鹿島西部中)

龍谷祭、お疲れ様でした！

私は今回の龍谷祭では、応援団と生徒会を両立することに挑戦しました。両立することはとても大変でしたが、3年間で一番楽しい龍谷祭になったかと思っています。

文化祭では生徒会のみならず協力することができ、円滑に進行することが出来たと思います。特に入場口のパネルの作成や体育館の照明と音響の手伝いなど裏方の仕事で、文化祭を支えられていたと感じています。今年は準備期間も短く、自分も会長も時間に追われる日々でした。くれぐれも来年の生徒会になる方々は、私たちのようにはならないようにしてください！

今回の龍谷祭では体育館でのイベントが例年よりも少なくなりましたが、2年生のクラス催しものや3年生の模擬店などがとても盛り上がっていて嬉しかったです。1年生の作成した動画もどのクラスも個性的で面白いものになっていました。

最後になりますが今回協力してくださった方々、ありがとうございました！！

生徒会長

山口 健太 (③文理 武雄中)

皆さん、2日間の龍谷祭お疲れ様でした。私は、今年の体育祭・文化祭どちらも思いっきり楽しむことができました。文化祭では、オープニングイベントの吹奏楽部の演奏や各団のパフォーマンス、個人パフォーマンスが盛り上がっていて、とても楽しかったです。体育祭では、自身が競技に参加できただけでなく、各競技で生徒の皆さんが楽しんでいる姿を見ることができたので、嬉しかったです。最後の各団の応援演舞では、力強く迫力のある素晴らしい演舞を見ることもできました。

私たち生徒会は、龍谷祭の準備・運営を中心に活動しました。私は、今年の龍谷祭を成功させるために考えていたことが一つありました。それは、「どのようにすれば龍谷祭をスムーズに運営できるのか」ということです。運営をしていく中で大変なこともありましたが、生徒会のメンバーの協力のおかげで準備も当日も上手くいき、無事に終わることができて本当に良かったです。

先生方、私達のために龍谷祭の準備や運営をして頂き本当にありがとうございました。感謝しています。本当に、高校最後の龍谷祭を全力で楽しむことができて良かったです。1、2年生の皆さんには来年・再来年も龍谷祭はあるので、盛り上げて最高に楽しんでください。

キッザニア福岡

夏休みに株式会社ECC様のご協力のもと、文理進学コース2年生を対象に「キッザニア福岡英語研修」を実施することができました。事前研修として、iPadを使ってEC Cオンライン英語レッスンを受講した上で、ららぽーと福岡内にあるキッザニア福岡まで向かいました。館内はオールイングリッシュでの就業体験ができる施設で、生徒たちはそれぞれのユニフォームを身にまといながらネイティブの方々と英会話を楽しんでいた。職業体験後は、中央ホールでスタッフの皆さんと一緒にダンスをして盛り上がりました。生徒たちにとって、とても貴重な体験になったと思います。



《生徒の感想より》

- ・日常的な英会話をするのがとても難しく感じて、教えてもらうときに相手の顔と手の動きを見て判断しないとイケないなと思いました。必死に、どのようなことを話していただいているのかを読み取る・感じ取ることがすごく難しく、もっと勉強しないとイケないなと思った。
- ・オンラインレッスンは初めてで、分からないことが多かったけれど、優しく教えてくださってくれたので分かりやすかった。

(文責 安藤)



特別進学コース 勉強合宿

特別進学コース3年生が8月4日(日)～7日(水)ホテルセキア(熊本県玉名郡南関町)にて、勉強合宿(3泊4日)を行いました。この合宿は、厳しい夏に自分がどれだけ頑張れるかを挑戦し、「合格をつかむ」受験生としての強い精神力・忍耐力を身につけていくことを目標とした、特別進学コースの伝統行事です。

2日目には有名予備校などで大学受験指導をされている岡先生(数学)の特別講座があり、共通テスト予想問題の指導を受けました。4日間の学習時間は1920分(32時間)でした。全員が集団生活の中で刺激を与えあい、競い合いながら学習し意味のある充実した4日間を終えることができました。

《生徒の感想》

- ・以前よりも長く集中力を持たせられるようになった。1人での勉強が好きだったが、今回クラスの仲間と共に勉強することで周りから刺激をもらい、皆も頑張っているから自分も頑張らないといけないという意識を持つことができ、勉強に励むことができた。
- ・みんな同じ部屋で勉強したので自分が疲れたときも周りを見ることで、みんなが頑張っているから自分も頑張ろうと思えた。精神的にも成長することができた。
- ・勉強は質も大事だが量もとても大事だと思う。学習時間を少しでも多く確保し、大学受験に向けてこれからも頑張っていく。
- ・合宿ですのと家ですのは場所が変わっただけなので続けることはできると思う。自分に妥協せず、受験に突っ走っていききたい。今回の合宿を忘れないようにする。

(文責 平尾)



龍谷 SPORTS & CULTURE

【剣道部】

第71回全九州高等学校剣道競技大会(7月5日～7日・長崎県立総合体育館)

男子団体

川内 夢翔(③神 崎) 野中 遥稀(③神 崎)
古川 雄大(③大 和) 森口 竣瑛(③西宮 塩瀬)
平田 謙心(②龍 谷) 江頭 大聖(②北茂安)
奥山 晃英(②龍 谷)

男子個人

優勝 川内 夢翔(③神 崎)
出場 弓 翔太(③北茂安) 野中遥稀(③神 崎)

女子団体

樫橋 優那(③大 和) 小川 なな(③龍 谷)
友永 心絆(③相 知) 橋本 真央(③小 城)
安達 心希(②三 瀬) 石橋 杏愛(①龍 谷)
實松久玲愛(①龍 谷)

女子個人

樫橋 優那(③大 和) 小川 なな(③龍 谷)
友永 心絆(③相 知)

令和6年度玉電旗剣道大会(7月25日～29日・福岡市総合体育館)

男子団体

弓 翔太(③北茂安) 川内 夢翔(③神 崎)
野中 遥稀(③神 崎) 古川 雄大(③大 和)
森口 竣瑛(③西宮 塩瀬)
平田 謙心(②龍 谷) 江頭 大聖(②北茂安)

女子団体

樫橋 優那(③大 和) 小川 なな(③龍 谷)
友永 心絆(③相 知) 橋本 真央(③小 城)
安達 心希(②三 瀬) 石橋 杏愛(①龍 谷)
實松久玲愛(①龍 谷)

令和6年度全国高等学校総合体育大会(8月3日～6日・レゾナック武道スポーツセンター)

女子団体

樫橋 優那(③大 和) 小川 なな(③龍 谷)
友永 心絆(③相 知) 橋本 真央(③小 城)
安達 心希(②三 瀬) 石橋 杏愛(①龍 谷)
實松久玲愛(①龍 谷)

女子個人

小川 なな(③龍 谷)

【陸上】

第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 北九州地区予選会(6月14日～17日・トランスコスモススタジアム長崎)

七種競技 3899点 5位 海老原もえ(②香 楠)

第57回佐賀県高等学校新人陸上競技大会兼全九州高等学校新人陸上競技大会予選会(9月14日、15日・国見台陸上競技場)

男子200m 2位 延 連太郎(①鳥 栖) 22.70
男子400m 2位 内田城太郎(②城 東) 52.15
男子走高跳 2位 唐松 蓮斗(①成 章) 1m70
男子棒高跳 2位 松尾 和気(①福 富) 2m60
男子走幅跳 2位 小林 翔(②金 泉) 6m60
男子 4×100mR 2位 42.53

塩向 和季(②城 東) 石川 晴飛(①成 章)

延 連太郎(①鳥 栖) 村上 純大(②城 東)

女子100mH 3位 海老原もえ(②香 楠) 15.69

七種競技 1位 海老原もえ(②香 楠) 3602点

女子走幅跳 3位 池田 心音(②唐津第一) 4m97

女子三段跳 3位 池田 心音(②唐津第一) 10m33

【男子バスケットボール】

2024SBA U18県リーグ(2部)(7月28日、8月12日、18日・弘学館高校体育館、佐賀商業高校体育館、致遠館高校体育館)

龍 谷 69-43 弘学館高校

龍 谷 61-58 佐賀商業高校

龍 谷 56-34 致遠館高校

第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会佐賀県大会(9月22日、28日・佐賀北高校体育館、多久高校体育館)

ベスト8 龍 谷 70-48 弘学館高校

龍 谷 86-56 多久高校

龍 谷 85-74 佐賀商業高校

龍 谷 18-139 佐賀東高校

【サッカー】

令和6年度全九州高等学校体育大会・第76回全九州高等学校サッカー競技大会(6月15日～17日・大分レゾナックグラウンド)

準優勝 龍 谷 2-2 興南高校(8PK7)

龍 谷 2-1 鹿児島城西高校

龍 谷 2-2 国見高校(5PK4)

龍 谷 1-7 日章学園高校

令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会(7月26日～8月3日・福岡県Jヴィレッジスタジアム)

2回戦敗退 龍 谷 3-2 瀬戸内高校

龍 谷 0-4 帝京長岡高校

【空手道部】

令和6年度全九州高等学校体育大会・第73回全九州高等学校空手道競技大会(7月7日・山鹿市総合体育館)

3位 宮崎 祥歩(②鳥 栖)

令和6年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会(8月3日・佐世保市体育文化館)

ベスト16 光吉菜々美(③昭 栄)

【弓道部】

令和6年度佐賀市高校生弓道大会(8月25日・佐賀市弓道場)

男子団体

優勝 光武 志真(②金 泉)

男子個人 優勝 山田 瑞季(②東与賀)

【男子バレーボール】

令和6年度天皇杯全日本バレーボール選手権大会(7月6日・三日月体育館)

1回戦 龍 谷 0-2 北陵高校 初戦敗退

【女子バレーボール】

令和6年度皇后杯全日本バレーボール選手権大会(7月6日・牛津体育センター)

2回戦 龍 谷 0-2 鹿島高校 2回戦敗退

【水 泳】

令和6年度全九州高等学校体育大会水泳競技(7月13日～15日・長崎市民総合プール)

男子200m個人メドレー

2位 市丸 愛翔(③成 章) 2分4秒25

男子400m個人メドレー

優勝 市丸 愛翔(③成 章) 4分26秒74

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技(8月17日～20日・SAGAアクア)

男子400m個人メドレー

7位 市丸 愛翔(③成 章) 4分24秒26

【自転車競技部】

令和6年度全九州高等学校体育大会自転車競技(6月7日～10日・北九州メディアドーム/HSR九州)

男子チーム・スプリント 1分22秒395

8位 松浦 慶生(①大 和)・山下 隼(①神 崎)

小林 優太(③肥 前)

1kmタイムトライアル

4位 小林 優太(③肥 前) 1分06秒731

500mタイムトライアル

7位 原 愛華(③川 登) 39秒555

2kmインディビジュアルパーシュート

3位 原 愛華(③川 登) 2分39秒461

女子ケイリン 5位 原 愛華(③川 登)

女子個人ロードレース 3位 原 愛華(③川 登)

令和6年度全国高等学校総合体育大会自転車競技(7月26日～29日・北九州メディアドーム/オートボリス)

1kmタイムトライアル

2位 小林 優太(③肥 前) 1分05秒783

【華道部】

Ikenobo花の甲子園2024九州北部大会(9月7日・アクロス福岡)

敢闘賞 津村帆乃花(③川 副)

江口 未京(②川 副) 井原聖と葉(②川 副)

【書道部】

第53回全国高校書道展(8月4日)

準特選 梶原 葵衣(②小 城) 中島 百音(②東与賀)

入 選 中津海珊瑚(②腹 栄)

佳 作 小柳 僚雅(②武雄北) 永田明日香(②成 章)

【放送部】

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会(6月9日・佐賀西高校)

朗読部門 奨励賞 中野 心晴(龍 谷)



龍谷SDGsなう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』 4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します



JICAを学び、感じ、考えた2日間！！

7月25・26日in北九州

JICA九州高校生国際協力実体験プログラムに佐賀代表として参加した。JICAデスク佐賀の石川洸氏に事前指導を受け、実際の海外協力隊要請内容(モンゴル)を把握して、協力隊応募者として模擬申請をした。1日目は、国際理解ワークショップBAFABAF(架空の二つの国をつくり、その国の国民を演じる。それぞれの国へ足を踏み入れることにより、疑似的に異文化に遭遇する状況を作り出し、異文化への対応、感じ方などを考える)を体験。いかに異文化に入っていくことが大変なことかを身をもって感じ学んだ。JICA研修員との交流会では、色々な専門分野で研修されている方(普段、接することが出来ない国パラグアイ、ホンジュラス、グアテマラ、トンガ、ベトナム)と交流し、英語への学習意欲が高まった。国際協力模擬体験では、企画案を出し、模造紙に仕上げた。2日目にそのグループ発表を行い、実際現地モンゴルへ高校生案をお送りした。高校生らしい、柔軟な発想で開発国の問題解決に取り組むことができた。



今回の研修で、グローバル(地球規模の広い視野を持ちながら、地域に根ざした視点で行動する)という考え方を学んだ。今後の学校生活で日本のODA・多文化共生・異文化理解に加え、この考え方を普及していくことを期待している。

【生徒感想】

- 事前学習…モンゴルという国名は知っていたが、あまり深くは知らない国で、そこでは教育、健康、地域などいろいろな問題がまだまだたくさんあって、もっと知る必要があると思った。・研修員との交流…ペアが英語で積極的に会話できていて、学年は違うけれど何もできない自分が悔しかった。それと同時に聞き取ることは少しできたので自信にも繋がりと英語を学んでいきたいと思った。 **松石 望愛(理数グローバル④龍谷)**
- 異文化体験(BAFA BAFA)…異文化を受け入れた時、異文化に入った時の気持ちを全部ではないが感じる事ができ、これから他の地域や国から来た人と出会った時の行動を考えることができた。・今回のプログラムで学んだこと…何かを解決するためには自分1人で考えるのではなく、誰かと話し合いより良い案を考えることが大切ということを感じた。 **吉田真悠子(理数グローバル④龍谷)**
- 支援要請内容考察、発表…支援要請である「食育」のテーマから繋がって出てきた新しい課題に翻弄されて主題からずれてしまうことがあったが、グループ内でアドバイスをし合い、完成させることができた。発表後の質疑応答時にメンバーの1人が難しい質問も的確に回答していて、とてもいい刺激になった。とても有意義な研修で、自分の将来の夢への選択に役立てたいと思った。 **本島 琳子(理数グローバル④龍谷)**
- 今後の学校生活…互いの文化を尊重できるように、他の人の意見・考えを大切に、相互のことを話し合い、協力していくことを心がけて生活していきたいと思った。今回の研修で、異文化に触れることの大切さをすごく実感できた。日本だけにとどまらず、色々なところで生活・体験することが自分を強くするのだと学んだ。 **豊増 恒生(理数グローバル④龍谷)**

(文責 徳森)



自然と向き合う豊かな時間を作りました！！

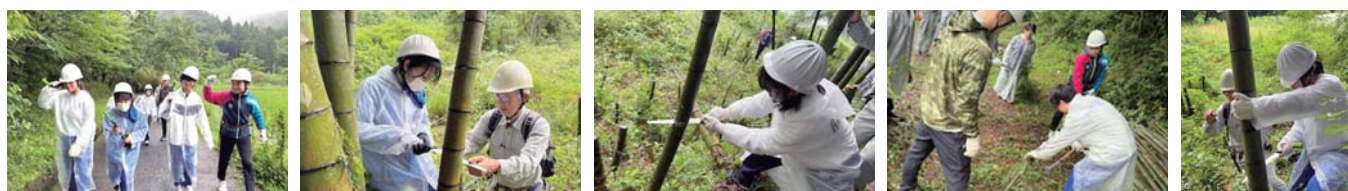
6月29日in三瀬村

「さがクリークネット」代表の川崎康広氏(龍谷高校卒業生)・佐賀大学総合分析実験センター准教授児玉宏樹氏・佐賀大学学生らとともに龍谷中学生が竹伐採プログラムに参加した。昨年度の竹灯ろうデザインをした生徒たちを中心に、今年は自分たちの手で竹伐採体験をした。放置竹林による害「竹害」は竹が倒れて通行を阻害したり、害虫や害獣の住処となったり、土砂災害の危険性が高まる。森林指導員に竹の種類(孟宗竹や真竹)・伐採方法・山での動き方など丁寧に指導いただき、一人ずつ、竹と格闘した。倒れ方が左右に傾く際は、協力して真ん中に倒れるように調整したり、伐採後の葉を落とし、運び作業をしたり、いい汗をかけた。この伐採した竹は今後、様々なイベントで活用していきながら、自然や竹を身近に感じていきたい。

【生徒感想】

- 今回伐採した竹を使って小さな子でも気軽に出来る竹の伐採教室をしたいと思った。また、今後の学校生活で、みんなに竹の伐採についての私の体験を話して、少しでも興味を持ってほしいと思った。 **田辺ちさと(中①中川副)**
- 「竹は根域が浅く、土砂災害などが起こりやすい。」という大学生の説明を聞き、驚いた。なぜなら、樹木は「自然の貯水池」と言われ、防災の要になっていることを聞いたことがあったからだ。今回参加して「自然を利用するのは大切だが、性質などを考慮した管理が必要不可欠」ということに気がついた。 **服部季逢里(中②北川副)**
- 初めてノコギリを使って竹を切った。力加減が難しく一本切るのにとても時間がかかり、想像以上に難しかった。竹はスマホたてや球体のおもちゃなどを作ることができ、色々な活用方法があることや、竹を切ることがSDGsにも寄与できることを知った。 **中島 未緒(中③兵庫)**

(文責 徳森)



「体験」「協働」「実践」、そして「自信」へ

龍谷 中学校

中高一貫 理数グローバル

働くことの難しさ、面白さを学ぶ

7月23日(火)～25日(木)の3日間、
中学2年生は全12事業所様、7つの分野に
分かれ「職業体験」を行いました。

体験前は、事前学習を繰り返し、生徒自
ら体験先に電話をかけて打合せ日程の確認
をするなど緊張の連続でした。

職業体験が始まると、最初は慣れない言
葉遣いや業務見習いで失敗することも多々
あったようです。飲食業では、衛生面の厳
しさを接客の作法を学ばせていただきました。
小売業では、品出しや接客、商品をどの
ように配置したら売り上げが上がるのか
等を学ばせていただき、仕事の難しさや面
白さを知るきっかけとなりました。他にも
多くの事業所様のお陰で多くのことを学ば
せていただき、今後の糧にすることができ
ました。また、普段は入ることができない
ような場所へも入れていただき、貴重な体
験をすることができました。

お忙しい中で生徒たちを受け入れていた
だきました全事業所のみなさまに心より感
謝いたします。

(文責 立石)



暑さに負けず、個々の力が一つに結集！



9月6日(金)、中学・高校
合同「体育祭」が本校グラ
ウンドにて開催されました。前日
5日(木)の「文化祭」も大
いに盛り上がりましたが、体
育祭当日も朝早くから多くの
保護者や卒業生が来校され、
たくさんの声援の中で白熱し
た競技が繰り広げられました。



中学生は3年生のリーダー
を中心に、夏休み中からダン
スや演舞の練習を重ねてきました。特に1年生は、初
めのダンス・演舞練習でしたので、振り付けやタイ
ミングを合わせるのに苦戦していたようですが、先輩
たちの熱心な指導のおかげで、みるみる上達し本番で
は、元気で明るいはつらつとしたダンスを披露しまし
た。応援リーダーは、さすが3年生という力のこもっ
た演舞を行い、高校生にも負けない力強さが印象的で
した。

当日は、とても暑い一日でしたが、生徒一人ひとりも「熱い」姿を見せて
くれました。

(文責 梶島)



〔生徒感想〕



応援団長 小島 彩瑛（中3）

今年は例年と違い短期間での練習となり、初めは練習に対する不安を覚え、考えることも多かったのですが、同じ団長の山崎さんや自分についてきてくれた演舞リーダー、中学生、先生方などたくさんの人に支えていただき体育祭本番では、みんなの全力を演舞に出すことができました。みなさん、ありがとうございました。



応援団長 山崎 杏南（中3）

今年は応援団長が二人という新しいかたちで演舞にチャレンジしました。練習期間が例年より短く本番までに間に合うのか、とても不安でしたが、演舞リーダーのみんなの一生懸命なサポートがあり、私たちについてきてくれたので、本番は百点満点の最高の演舞ができました。団長としてみんなを引っ張ることができてとてもよい経験となりました。



ダンス責任者 中村 崇馬（中3）

今年体育祭でダンスリーダーの責任者を務めました。でもサッカーの練習があったため思うような協力、練習ができず星川君には迷惑をかけてしまいました。ダンスを覚えるのも1・2年生より遅く、演舞もうろ覚えとなっていました。どうにかしないといけないと思いましたが、私自身はうまくいきませんでした。結果的には他の3年生が頑張っていたので、来年のリーダーにはしっかり自分の役割を果たして欲しいと伝えたいです。



ダンス責任者 星川 琉偉（中3）

私は今回の体育祭でダンスリーダーの責任者を務めました。ダンスリーダーとして、踊り方を教えたり、みんなをまとめたりしました。しかし、始めてみるとそう簡単なことではありませんでした。でも、諦めずに練習に取り組み、やっているうちに上手下手にこだわるのではなく、本番に楽しく笑顔で恥ずかしさをなくして踊ることがダンスだということに気づきました。今年の体育祭は、今までで最高の育祭でした。

生徒が活躍、「オープンスクール」

9月21日（土）、「オープンスクール＆入試説明会」を開催しました。中学受験を検討されている小学生やその家族が来校され、本校の様子を見学、授業体験をしてもらいました。

今回は、朝の受付係、校内誘導係を1年生が担当しました。初めての経験でしたが、明るく元気のいい挨拶で来校者をお出迎えしていました。また、3年生は、4つのグループに分かれて、校内見学ツアーの案内係を務め、積極的に小学生に語りかけ、少しでもリラックスしてもらうよう気を配っていました。

体験授業では、「プログラミング体験」、「英語体験」をしてもらいました。どちらも本校ならではの魅力的な内容となっており、参加している小学生が楽しそうに取り組む姿が見られました。ここでも3年生がサポート役となり、さりげなく小学生に寄り添い、アドバイスをしたり、楽しくコミュニケーションをとっており、理数グローバル生が目指す「自立した学習者」としての一面を見せていました。

（文責 松尾）



九州龍谷短期大学

後期オリエンテーションを行いました😊



鳥
栖
市

九州龍谷短期大学

学園だより

佐賀龍谷学園が設置する学校
(短大・高校・中学)に、兄弟
姉妹が二人以上在籍する場合、
二人目以降のお子様の入学金が
減免されます。
詳しくは、各学校事務室まで
お問い合わせください。

9/20(金)後期オリエンテーションを行いました。
各学科・学年に分かれ、時間割や進路関係の説明を受けました。
夏季休暇も終了し、静かだった校舎にも学生の声が響き、賑やかになって
きました。
2年生は残り少ない学生生活をより良いものにし、卒業して行ってほし
いと感じた1日でした。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

◎2025(令和7)年からの入園受付開始(令和6年11月1月~)
1号園児(教育認定)はこども園へ、2・3号園児(保育
認定)は市町へ申し込みます。

◎こども園では、毎週火曜日に未就園児を対象とした「子育て
サロン」を開催しています。



▲ちょっと涼しくなりました。
久しぶりの散歩です。

メニュー ①折り紙教室 ②看護師さんのお話 ③新聞紙遊び ④音楽遊び
⑤サッカー場で遊ぼう など 完全予約制(当日参加もOK!)です。
ぜひ、こども園までお越しください。



▲何を描いているのかな。お楽しみに。

▶野菜スタンプ楽しいね
祖父母へのプレゼントに
なりました。



▼つばめ組(5歳児)のお部屋で
ひよこ組(3歳児)が元気に
遊んでいます。



こども園で
こんなこと楽しんでいます!

▶高校のお兄さんやお姉さん、
いつも一緒に遊んでくれて
ありがとう。



▶何が出来るのかな。運動会に
向けて制作中だそうです。

